

住民説明会で出た主な質問と回答

NO	質問	回答
1	<p>後藤寺中学校付近は人家が隣接している。工事車両の搬入経路などの検討はなされているのか。また、工事に伴う地元説明会はいつ頃行うつもりなのか。</p>	<p>本体工事については、現在設計段階であり、工事業者等が決定していないため詳細は未定です。仮設校舎については、後藤寺校区の地元説明会を来週（2月13日）開催する予定です。</p> <p>工事用道路については、通常の搬入は中元寺川の川沿いから松ノ木橋を通るルートで検討しています。但し、大型重機については橋を曲がれない可能性があるため、西本町区の住民の方と十分に協議をし、決定したいと考えています。</p>
2	<p>開校準備協議会の設置期間が開校後まで予定されているが、最終応答日はいつ頃を予定しているのか。特に制服に関する事などは、事前に子どもや保護者の方達に説明すべきではないか。</p>	<p>開校準備協議会は5つの部会で構成されており、現状、各部会において、どの項目をいつまでに決定するのか等の検討を始めたところです。</p> <p>制服等については、開校する約1年前までに業者にデザイン等を示す必要があります。そこで、まずは応答日（デザイン等の決定時期）を決めた上で検討を進め、そこで決定した内容については随時、新中学校に通う子どもや保護者の方に対して周知を図っていきたいと考えています。</p>
3	<p>弓削田中学校は指定避難場所に指定されている。新中学校開校後の弓削田校区の避難場所に関する検討はなされているのか。</p>	<p>現状、市内小中学校は全て指定避難場所となっています。新中学校開校後も、各校区に小学校が残るため、小学校が引き続き各校区の指定避難場所になると予想され</p>

		<p>ます。</p> <p>指定避難場所等については市長部局の所管となります。御指摘のとおり、新中学校の開校に伴い、指定避難場所が減少するため、他の避難場所を検討するなどの検討を、市長部局の方で進めています。</p>
4	伊田中学校敷及び後藤寺中学校敷の埋蔵文化財等についてはどのような対応をするのか。	<p>本體工事前に、文化財の調査が必要となります。調査については教育委員会に担当部署があり、文化財保護法に則り調査を行う予定としています。</p>
5	通学路の整備は非常に時間が掛かると思われる。予算の問題もあり、今から検討するのは難しいのではないか。	<p>令和元年6月補正予算において、通学路点検にかかる予算を計上しており、各小学校区から新中学校までの通学路と予想されるルートについて、コンサルタント業者に整備方法及び整備費用の積算を依頼しているところです。</p> <p>業者から回答をもらった後、市道を所管する土木課と協議し、優先順位を定めたのちに、来年度から通学路整備に着手したいと考えています。</p> <p>また、御指摘のとおり、開校までに全ての通学路を整備するのは難しく、他にも整備が必要な道路がないか、開校準備協議会で検討を進めているところです。新たに検討が必要になった道路については、来年度、追加でコンサルタント業者に整備方法等の検討を依頼したいと考えています。</p>
6	中学校再編に伴い、自転車通学が増え、交通事故の危険性も高まると思わ	<p>登校時生徒の死亡時の金額は1,500万円です。現在の保険については、独立行</p>

	<p>れる。生徒の保険の死亡時等の金額は決まっているのか。また、その保険の充実化を考えてほしい。</p>	<p>政法人スポーツ振興センターで対応しています。</p>
7	<p>猪位金学園の成果について教えてほしい。</p>	<p>猪位金学園の検証は、開校時（平成26年）の1年生が卒業した後に行うこととしています。現時点では、具体的な成果を申し上げることはできません。</p>
8	<p>先ほど教育長から再編後は小中連携等が行えるようになるのではないかという意見があった。もし、猪位金学園での良い事例があれば、教えてほしい。</p>	<p>猪位金学園は猪位金小学校と猪位金中学校を統合して平成26年に開校しました。他の市内の学校は、ほとんどが1小1中という形で小中連携を図っているのに対し、猪位金学園は小学校から中学校までの9年間を3期制として割り振り、小中連携を図っています。</p> <p>また、猪位金学園では、中学校の先生が小学校5、6年生の授業に入るなど、いわゆる中1ギャップの解消に向けた取り組みや、小学校5、6年生の段階から中学校と同じように定期考査を行うなど、様々な取り組みに挑戦しています。新中学校開校後は、そうした成果を田川市全体で取り入れていきたいと考えています。</p>
9	<p>星美台に通う子ども達は、大藪小に通う子どもと金川小に通う子どもに分かれている。新中学校開校後は東西どちらに通うことになるのか。</p>	<p>今回の中学校再編では、1小学校から1中学校に通うことを基本としています。現状、星美台や松原1区・2区のように、1地域から別々の学校に通う地域があります。こうした地域については、地域とのつながりにも関わりがありますので、地域の方や保護者の方と十分に協議を重ねた</p>

		<p>上で検討したいと考えています。</p> <p>また、現状、すでに中学校に通われているお子さんやその兄弟姉妹の方については、なるべく保護者の負担にならない方法を検討したいと考えています。</p>
10	<p>スクールバスの乗車基準についてどのように考えているのか。また、希望すればスクールバスに乗れるのか。</p>	<p>自転車通学やスクールバスの通学基準については、現在、開校準備協議会で検討を行っており、他市の事例等も参考とし、検討を進めることとしています。</p>
11	<p>これだけの大事業に、予算は幾らぐらいを考えているのか。</p>	<p>文科省の学校設置基準や開校時の生徒数、立地の条件等を元に試算を行い、東西合わせて約98億予算を計上しています。国庫補助や過疎債等を活用しつつ、市の財政負担に掛からない方法を検討しながら事業を進めています。</p>
12	<p>予算の98億の中には通学路の整備や附帯事業等も含まれているのか。用地費や附帯工事、学校管理の予算は幾らかかるのか。</p>	<p>98億には学校及び学校周辺の整備が含まれており、市道の整備等については現在積算中です。市道の整備については、社会資本整備総合交付金等を活用しつつ、市の負担を軽減できるよう進めていきます。</p>
13	<p>令和4年の開校時には、何割ぐらいの先生方が、「一定規模の生徒集団の確保による改善」ができるという実感を持てると考えているのか。また、その数字を達成するために何をしようと考えているのか。</p>	<p>学校規模にかかわらず、子どもたちに力をつけるため、教職員が研修等で繋がりを持ち、力をつけていくのは当然のことと考えています。</p> <p>現在、田川市では学力向上を目指し、陰山メソッド・小河式やICT教育、英語教育に力を入れています。子ども達が自分たちの個性の良さを活かし、社会参画できるように取り組んでいきたいと考えています。</p>

		<p>また、新中学校ができることで、例えば1教科に複数の先生が配置でき、研修や教材作りなどを相談しあえる教育環境を整えることで、こうした取り組みがより充実すると考えます。</p>
--	--	---

【その他、会場で出た意見について】

○松ノ木橋から春日橋にかけて工事用道路となっているが、通勤時間帯は交通量が多く、弓削田校区区長会から市に道路の改良をお願いしているところである。工事用道路として使用するのであれば、市長部局と連携し、道路関係の整備をしてほしい。

○現在の市内中学校は、生徒数の減少により1クラスが20人にも満たないなどの現状もあり、このままでは全ての中学校が衰退の道を辿ると思う。新中学校には大きな希望を持っており、せっかく時間とお金を掛けてつくるのであれば、できる限り知恵を絞り、内容の伴った、後々皆に良い中学校ができたと思えるようにしてもらえよう強く願っている。

○スクールバスの乗車基準について、以前にも同じ質問をして、そのときも同様の回答であった。保護者にとって、通学が一番の心配点であるため、一番に決めてもらいたい。

○伊田小の陰山メソッドに係る公開授業に参加した。参加する前は本当に100マス計算だけで、考える力、応用する力というのはつくのだろうかと思っていたが、公開授業に参加して、子ども達は達成感を持ってやっていて、そのときはわからなくても、後になって「先生はこのことを言っていたのだ」と振り返って、わかるということを目指しているのだとわかった。自分たちがやってきたことを振り返って、上から見るという中で、新しいものを発見できる。ぜひ、今後はそういった方向で進んでもらいたい。